

# 生命と安全を守るには実力決起か 当局の強弁「安全よりサービスだ」

日刊  
**動労千葉**

85. 10. 26

No. 2074

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二・二二七二〇七

## 運転保安の団交を拒否する当局が、

### 今度は、「処分キライ」をせよネクタイ カミソリ攻撃

千鉄当局は、近々にも「動力車乗務員の心構え」なるチラシを全乗務員に配布し、ネクタイの着用、背面カーテンの全面開放を強要せんとしている。しかも、警告書をも準備し、「従わない場合は嚴重に処置する」と処分をちらつかせ、屈服をせまろうとしている。運転保安を無視し、全てのしわよせを労働者におしつけるやり方を絶対に認めるわけにはいかない。

#### 「処分」チラシさせたランク付け許すな

当局は現在、点呼時の口頭諮問や、乗務態度、基本動作等を影でチェックし、乗務員のランク付け（A・B・C・・）、選別の基準づくりを開始している。今回の「心構え」なるチラシは、これを処分をもちろつかせ、公然と行うことを宣言したと言える。

チラシでは第一に「運転事故防止のため、基本動作に徹しよう」と言うが、この間の運転保安に関する交渉で当局は、「運転保安は労働条件ではないので、交渉事ではない」とし、車両故障・沿線火災・保線等々の重大問題について、一切交渉を拒否している。

こうしたうえで乗務員のみ責任をおしつけ、これをチェックし、選別するなど断じて許すわけにはいかない。

#### 乗務員の苦闘をふみにじっているのは誰だ！

チラシは第二に「乗務員は列車の顔。国鉄のイメージアップのためネクタイをしめろ」と言っている。一体、ネクタイ着用など服規定のどこに書いてあるんだ。そもそも国鉄のイメージが悪いのは、当局の無能と政治家や資本家が食いものにしたあげく生み出された膨大な「赤字」

を毎年毎年大幅運賃値上げという反動的な大衆収奪に押しつぶせているからだ。乗務員の血のにじむ努力による運転の正確さは万人が認め、賞賛しているぐらいなのだ。

#### 「安全」と引きかえの「サービス」なんかあるものか！

#### || 運転保安を実力で闘いとるぞ ||

第三に「背面カーテンを全部あけよ」と言っている。これは、動労「本部」革マルの率先協力と他労組の後退をテコとしたものである。

当局の「全面解放せよ」という理由は唯一「サービス」と「安全」は一体どっち

が重要なんだ。日航だって乗客サービスは確かに良かったが、整備の合理化で大事故が発生すればそんなものとはストンでしまふ。当然のことである。

そもそも背面カーテンは本来、「シャ光幕」と言われるように安全運転に欠かせないものだ。これは、サービスと引きかえにできるような性格のものではなくない。これを処分の対象とするならば、われわれは断固対決せざるを得ない。

団交をも拒否し、運転保安を否定する当局の攻撃に対し、自らの生命と乗客の安全を守るためには実力で闘う以外ない。全ての怒りを11月ストへ。